青森市中に過激な宣傳ビラ

偽稱奥山一味流

九日午前九時頃、北海道函館市街を自動車で、軍隊に關する過激な宣傳ビラを撒布し、九州、中國より東海道を脱かけ、到る處宣傳ビラを撒きつゝ去る七日

青森に入込み、鰺前の旅館に投宿して、同市内でも宣傳ビラを撒布して人心を惑はしたる外、偽稱奥山の一味らしく東京では、牛込、小石川、青山、品川方面の各電柱に宣傳ビラを貼附したる旨を聞く自白した、奥工藤、

奴は京都市生れ、壽光寺正義（もしくは光寺）

人輜重隊所に於て赤化宣傳をした

室蘭署では東京憲兵隊に急報すると共に嚴重取調中

義者の亡靈を弔ふ

「無我の愛」信者の大會

妙齢の婦人も交つて印度式に

者が數萬に上つてゐる

「無我の愛」と船打つて、府下は中野の塔の山、新人神に活…

…が九日から

開催されて居る

其のプログラム（宗語で善定といふ）に依ると九日午後一時淺草藝術院で彼の大杉氏等と共鳴した社會主義者の故小田頼造氏外十名の亡魂を弔つた後、遺族を慰安し、信仰座談會やら平和博の見物、講演、映遊會、懇談會などがある、終つて大講演會を開き

更に早大教授で

印度宗教に造詣の深い武田四郎氏が同宗の妙齢な婦人二十名を引率して印度式講演大法要を執行する等である、之は壯厳なものて純印度の宗教的法要である、之れは一種の宗教で全國の

信者は數万に達して居る、現に中野に集まつて居る地方の同志者は既に二百名に達し、尚追々集まつて來る樣で定の人を加算すると五百名に達する見込だそうな、何分新しい宗教的のものであるから新に根據を作る必要があるといふので宣傳大會を開いた次第である

種々な計畫の下

に既々當局の解散などに逢つた關係もあるから繁視庭では相當に注意を拂つて居るとのことだ

特設部
美髮館
是非お立寄り
下さいませ
体驗御陪意
化粧室御自由に
電話おつかい下さい
本館 人町麗 非善

アラビヤ丸入港と

問題の宣傳ビラ

根本主旨は同意だが名義を騙るは怪しからぬ

と船員の憤慨

「親愛なる諸君よ、……君よ、諸君は……の現狀を……見られて居るのであり……黒……本家はまだ其……

…ます、否信じつゝあるのであります、……との冒頭に大て「我本家が不況を……に……給を行ひ又日本郵……船會社が内外紙を分離して船員の給與を減額したる事を述べたる上、我本家の態度を徹底的に非難し最後に彼等我本家の主義を

破壞する

のは諸君や我等の意志一つにある、親愛なる諸君よ、彼等の頭上に大鉄槌を加へるは今が實に好機會であります、好機逸すべからずだ、此機會を逸したら再び我等船員は立つ事を得ないのです、諸君よ、戰へ、我等と共に契つて戰へ」と印刷したる文書が去る四月廿五日附にて日本郵船會社を初め各汽船會社の乘組員に宛て

郵送され

た其文書の差出人は「大阪商船會社アラビヤ丸機關部、甲板部一同」と書いてある此の文書を受せし汽船會社にて驚いた、既に數日前に

暴風雨を

起して吾等無實の罪を若しめやうとするのである

出所の捜査に熱心人の何人であるかに就きて其筋にては捜査を續けてある文書に記載せし日附の四月廿五日は

アラビヤ

丸が米航の途中機關に故障を生じて横濱港外に引返して來た日である、其アラビヤ丸は十日午前七時半タコマより横濱に碇泊したので岩城水夫長、新井火夫長に會ひて文書に關する意向を訊すと「其文書は見た後を追つて來た姉妹船のアリゾナ丸が持つて來てタコマで見た、其文書に書いてある事の

根本主旨

はてる事であり否船員全體の意志であると信ずる、併し其文書の印刷並に配附に就きては僕等は全然關係しない、毛頭知らぬ事である、何人の仕業であるか、或は日本船員組合の幹部にせし事ではあるまいかとも思ふ、元來斯る事は

海員組合

でなす事であつて若し組合でするとすれば正々堂々と組合名義を掲げて爲すべき事である、何人の仕業であるか我等アラビヤ丸乘組員名稱を濫用して事を爲すとは怪しからぬ事である僕等二人は即日船員組合機關支部に赴きて其出所を訊して其結果に依つては僕等にも覺悟がある」云々と云つて兩氏は大いに憤慨してゐた

上海共同租界官憲

過激主義禁止決定

同派の圖書館及び機關紙解散

【上海特電九日發】上海共同租界官憲は過激派の機關新聞社の解散を命じ其首領の一人にて支那郵便配達夫の罷業を煽動した廉で過激派支那人に對し會審衙門から三箇月の禁錮及服役後租界外へ追放すべき言渡の判決を與へられたが、右の判決に先立ち辯護士は勞働者の待遇改善に就いて力説し極力勞働運動者を擁護したが裁判長は租界の秩序維持の爲めに極刑を科した要するに上海共同租界の新方針は上海を中心とする支那勞働運動に對する大打擊であるが從來上海に於て支那勞働者の宣傳が赤裸々に行はれ、あるに顧み遂に斷乎たる禁止方針を執るに決定した而して其第一着手として本日共同勞働團體の幹部連は緊急策に就き協議中の模樣である

出所の判らぬ過激宣傳文

アラビア丸乘組員の名で

去る廿五日大阪商船アラビア丸が横濱出帆の際同船機關部甲板部兩員一同から日本郵船會社、日本船員組合、日本海員組合に宛て「横濱水上署及び神戸水上署に横濱水上署及び配布者を内偵中だつたが出所は明らかにアラビア丸乘組員と表記してあつたので十日午前八時同船はシアトルから横濱に碇泊したので横濱水上署では直に岩城水夫長、新井火夫長を喚問し綜合分取調べたが兩人共全く知せぬとの事で取調べ終了後松島町日本海員組合支部に至り同會の理事に宣傳ビラの出所につき知し、問答をしたが海員組合側では知らぬわからぬの一點張りで要領を得ず三時半歸船した